



# 二星

気仙沼市立唐桑中学校

令和4年度  
校長室便り

第2号 5月13日発行

5月2日（月）、朝会を行いました。生徒の皆さんに向けて、次の話をしました。

## 人生には必ず「壁」があります。

目の前に壁が立ち塞がったとき、3通りの選択肢があります。皆さんは次の1～3のどれが正しいと思いますか。

1 立ち向かう 2 逃げる 3 避けて通る



実は、1～3のすべてが正解。実際に、1は「七転び八起き」、2を「君子危うきに近寄らず」、3は「急がば回れ」、という言葉にもなっています。

では、私たちはいつでも1～3から好きなものを選択して良いのでしょうか。一緒に考えてみましょう。

2「逃げる」や3「避けて通る」は、幼い子どもでも選べますね。もちろん、大人になってもいつでも選択できます。そうです。中学校では、「1 立ち向かうこと」を、ぜひ身に付けてほしいのです。

実際に、3年生は1年後、1年生も3年後に、「義務教育修了」という「大きな壁」が待っていますからね。

「立ち向かう」とは言っても、何も考えず、ただ壁にぶち当たっていくのは「事故」です。それは、ただ痛いだけです。壁に立ち向かうときは、「自分はどうすべきか。どうすれば、この壁を乗り越えていけるか」という「目的意識」が大切です。

さらに知ってほしいのは、目的意識をもって壁に向かっても、ほとんどは壁に跳ね返されるということです。もちろん私も、壁に跳ね返されてばかりの人生です。その経験を私たちは「失敗」と呼んでいます。

ところで、「成功」の反対の言葉は何でしょう。国語辞典には「失敗」とありますが、人生では「失敗」は「成功の反対」ではありません。「成功の反対」は、「何もしないこと」なんです。むしろ、「成功と失敗」は「似ている言葉」とも言えます。失敗しない人に、成功は絶対に訪れませんし、「失敗の先にあるもの」、それが「成功」だからです。君たちには、中学時代、この「失敗」をどんどん重ねてほしい。勉強や部活動、友達関係も同じ。そしていつか、たくさんの失敗を重ねた結果、「成功」をつかみ取ることができるはずです。

しかし、人間はなかなか失敗をすることができません。なぜでしょうか？

……失敗は、「勇気がいること」、そして、「周りの人の協力が必要なこと」だからです。

例えば、試合の中で、目的をもってチャレンジしたのに「何やってんの！捕れるでしょ！」とか「そんなミスをしたらだめじゃないか！」なんて言葉をされると、次は臆病になってしまいます。思い切った挑戦ができなくなります。つまり、失敗を怖がるようになります。



ぜひ君たちには、自分の中に、人の失敗を温かく受け止める心を育ててほしいのです。失敗してしまった相手を許す気持ちを持ってほしいのです。

部活だけではありません。友達の失敗、親の失敗、先生の失敗……。人間は一生懸命になればなるほど、失敗をする可能性が高まります。そのときに、笑われたり、相手に許してもらえなかったりすると、人は失敗から逃げ、失敗することを怖がるようになる。それでは「失敗の先にある成功」を味わえません。そうなってしまうたら、伸びるはずの可能性が埋もれたままになります。その人の未来が小さくなってしまいます。

でも、「次こそ頑張ろう！」「応援してるよ！」「ナイスチャレンジ！」って言葉をもらおうと、一緒に頑張れます。次も、思い切って壁に向かえますよね？その支え合う姿が、人生には本当に大切なのです。

中総体まであと1か月を切りました。ぜひ、部活動では、ともに「目的意識」を持って「壁」に立ち向かってください。みんなで励まし合って「失敗」を繰り返し、自分たちが思い描く「成功」に向かってチャレンジしてください。その、支え合って壁に向かい、ともに頑張ったという経験は、必ずや人生で役に立ってくれます。

君たちのチャレンジを、心から応援しています。

## 【保護者の皆様へ】

### ～安心・安全で居心地の良い学校を目指し～

#### 【いじめの定義】（「いじめ防止対策推進法」より）

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等、当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

「いじめ防止対策推進法」という法律があります。この法律のポイントは『「いじめ」かどうかは、行為を受けた側が決める』というところです。

行為をした側が、「いじめる気持ちはなかった」とか「ふざけていただけ」と言ったとしても、「いじめではない」とは判断しません。

行為を受けた側が「いじめられた」と感じたら、学校はその出来事に対し、「いじめ防止対策推進法」に沿って対応していきます。そもそも「苦しい、辛い」と感じるレベルは人それぞれです。たとえ相手にとっては何気ない言葉や行動でも、もし、自分のこれまでの人生の中で、同じような言葉、行為で深く傷ついた経験があれば、似たような言葉や行為を受けてしまうことで、苦しい気持ちになるのは当然のことです。

本校職員は「いじめを絶対に見逃してはならない」という強い気持ちで取り組みます。いじめを受けた生徒からしっかりと話を聞き、問題の解決に向け、人間関係をより良くしていくために教員が仲立ちします。また、人間関係はすぐに改善するとは限りませんので2か月以上は面談を行いつつ、経過観察に努めます。

「いじめられて苦しい」と感じたら、我慢をせずに相談するよう、お話しください。

「いじめ」に限らず、現在のような変化の激しい世の中では、自分で解決できない悩みを抱えている場合もあります。本校では、次のような体制づくりに取り組んでいることをご承知ください。

#### 1 複数担任制を取り入れ、相談しやすい環境づくりに努めています。

例えば、男子生徒は女性の先生に自分の弱みを相談しづらい場合もあるかもしれません。学年に複数の教員を配置することで、相談しやすいように配慮しています。

#### 2 月に一度、生活アンケートを行っています。

学校生活アンケートは、学校で書くのではなく、家に持ち帰らせて書かせています。次の日の提出とすることで、書くための時間をしっかり作っています。

また、提出のときには封筒に入れさせるなど、記入した内容が他の人に分からないようにしています。

質問の内容は次のとおりです。

- 1) 学校は楽しいですか（充実していますか）。
- 2) 前回のアンケートから現在までに、自分の周りで「いじめ」と思われるようなことをされたり、見たり聞いたりしたことがありましたか。
- 3) (2)で「ある」と答えた人に質問します。それは、どのような様子でしたか。
- 4) 携帯電話やスマートフォンの利用について、困っていることはありますか。
- 5) (4)で「ある」と答えた人に質問します。それはどのような内容ですか。
- 6) 今、先生に相談したいことはありますか。
- 7) (6)で「ある」と答えた人に質問します。それはどのようなことが教えてください。

#### 3 スクールカウンセラーが月曜日に来校します。

4月から本校に派遣いただいている、高橋義孝先生は、これまでに、様々な学校でご勤務なされた経験豊かなカウンセラーです。現在、生徒との距離を近づけるために、全校生徒と順番にお話をする機会を設けているところです。

現代社会においては、相談しても解決が難しい悩み事が多いものです。しかし、そんな世の中だからこそ、抱え込まずに問題を共有し、より良い生き方を一緒に考えることが大切だと考えます。保護者の皆様も、もし、お子様のことで困っていることがあればご相談ください。



冷やかし・悪口  
嫌なことを言われる



仲間はずれにされる



暴力



金品をとられる  
壊される



嫌なことや危険なことを  
される・させられる



インターネット上で  
嫌なことをされる